



西大和学園補習校 中学部	
国語1 科	/ 月 23 日の連絡
8 年	さんへ

※今日の学習内容

走れ×ロス
場面展開をとらえ、704p②にまとめろ

※今日の宿題

音読「走れ×ロス」
ワークp113～114
漢字704p②
書き字し課題「走れ×ロス」の中で各自の好きな場面を書いてくる

※来週の予定

走れ×ロス

※連絡事項

1 作品をよく読んで、次の場面ごとに本文中の言葉を()に書き入れ、あらすじをつかもう。

結末	転換	展開	発端	場面	内容・出来事	場所	日
⑥193ページ8行 終わり	⑤191ページ1行 193ページ7行	④186ページ12行 190ページ20行	③184ページ13行 186ページ11行	②181ページ18行 184ページ12行	①初め 181ページ17行	()	()
	・わき出ていた()を飲み、疲労回復し、義務遂行の()が生まれ、再び走り出す。 ・旅人たちの会話と()の忠告。 ・日没の最後の残光が消える寸前、刑場に突入し間に合う。	・雨の中を王城へと出発する。 ・水源地が()した川の濁流を泳いで渡る。 ・()が出現するも撃退する。 ・灼熱の太陽に照らされ立ち上がれなくなる。 ・心身が()し、勇者に不似合いな()根性が、心の隅に巣くう。	・村に帰り、妹の()式の準備をする。 ・妹の婿を説得する。 ・妹の結婚式を挙げる。 ・妹と婿に言葉をかけ、宴席から立ち去り眠る。	・捕縛され、王と対決するメロス。 ・王との約束 ・友人の()を人質とし、()の日暮れまでに帰ってくる。	・町全体がやけに()ことに気づく。 ・老翁から、王が人を殺しているという話を聞く。 ・メロスは()した。	故郷の村	1日目 2日目
	()との再会。 ・王の改心「()とは、決して空虚な()ではなかった。」	()への道	()	()の町	()	約束が交わされた日	3日目

() 年 氏名 ()

※教科書の本文から次の漢字をさがし、2回ずつ練習しよう。
 おくりがなも書きましょう。

- ① 大きなどう震いをする。
- ② 一隊のさんぞくが躍り出る。
- ③ 三人をなぐり倒す。
- ④ いもむしほども進めない。
- ⑤ ろぼうの草原に横たわる。
- ⑥ しんくの心臓をお目につけたい。
- ⑦ 友をあざむく。
- ⑧ 王のひれつをにくむ。
- ⑨ みにくい裏切り者。
- ⑩ ししを投げ出す。
- ⑪ 義務すいこうの希望が生まれる。
- ⑫ あくまのささやき。
- ⑬ 酒宴の人たちをぎょうてんさせる。
- ⑭ 不吉な会話を小耳にはさむ。
- ⑮ ふうていなんかどうでもいい。
- ⑯ ほとんど全らたいのメロス。
- ⑰ 町のとうろうが見える。
- ⑱ メロスとほうようする。
- ⑲ くうきよな妄想ではない。
- ⑳ ばんざい！ばんざい！

①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		
⑯		
⑰		
⑱		
⑳		



西大和学園補習校 中学部

<教科名> 国語②

1月23日の連絡

8年

さよう がくしゅうないよう
※今日の学習内容

漢字の学習 P52, 53 ④ - ②⑦

漢字テスト No. 30 ③, 31 ①

さよう しゅくだい
※今日の宿題

漢字の学習 本時の学習箇所 P52, 53 ④ - ②⑦

プリント No. 31 ③, 32 ①

よてい
※1月30日の予定

漢字の学習 P54, 55 ① - ②⑦

漢字テスト No. 31 ③, 32 ① (本日の宿題プリント)

れんらくじこう
※連絡事項

学年末テスト範囲

西大和学園補習校 八年
漢字テスト

①～⑩を漢字を使って
書き直して下さい。

①

しめりけのあるゆき

②

せんたになんかん

③

みたびにとりだいたがた

④

おののくのうがこ

⑤

かたがたにのみをきか

⑥

うしろのうしろのうしろのうしろ

⑦

めいじのうしろがた

⑧

かたがたのうしろ

⑨

たいせいのうしろ

⑩

うしろのうしろ

2月6日テスト

西大和学園補習校 八年
漢字テスト

名前

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

西大和学園補習校八年 漢字テスト	
	上段の①～⑩の漢字に読みか なをつけて、 下段の①～⑩の語句を使って短文 を作りなさい。
①	湿り気のある雪
②	繊細な感覚
③	岬に灯台が立つ
④	丘の上の学校
⑤	川岸に堤を築く
⑥	招待状の寿の文字
⑦	名人の誉れが高い
⑧	風薫る五月
⑨	体力が衰える
⑩	謹んでお受けする

1月30日テスト

西大和学園補習校八年 漢字テスト	
	名前
①	湿り気
②	繊細な
③	岬
④	丘
⑤	堤
⑥	寿
⑦	誉れ
⑧	薫る
⑨	衰える
⑩	謹む

西大和学園補習校 八年
漢字テスト

①～⑫の漢字に読みがなを書きなさい。★の後の語句を使って短文を作りなさい。

① 荒地を開拓する。

② 寛容な態度。

③ 便宜を図る。

④ 寡黙な老人。

⑤ 海産物を商う。

⑥ 己の心に問う。

⑦ 作業に支障を来す。

⑧ 挨拶を交わす。

⑨ 我が身を省みる。

⑩ 兄の機嫌を損ねる。

月23日テスト

★

西大和学園補習校 八年
漢字テスト

名前

⑪ 猫を飼う。

⑫ 作業が円滑に進む

① 開拓する。

② 寛容

③ 便宜(を図る)

④ 寡黙

⑤ 商う。

⑦ 支障

⑨ 省みる

⑫ 円滑



西大和学園補習校 中学部

8年数学

1月23日の連絡

8年

さん

※今日の^{きょう}学習^{がくしゅう}内容^{ないよう}

教科書 p 120 ~ 122 平行四辺形の性質

※今日の^{きょう}宿題^{しゅくだい}

ワーク p 72 (左半分)、74

※次週^{じしゅう}の^{よてい}予定

教科書 p 124 ~ 127 平行四辺形になる条件

来週、今週学んだ内容についての小テストを行います。

※連絡^{れんらく}事項^{じこう}

図形の勉強に入っています。

三角定規、コンパス、分度器を持ってきてください。

小テスト 5章—2

1 次の計算をなさい。

$$-9a^2 \div \frac{a}{b} - \frac{1}{3}a^2b \div \left(-\frac{1}{6}a\right)$$

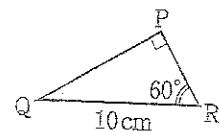
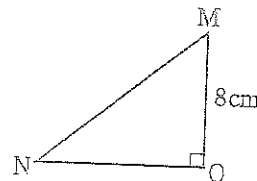
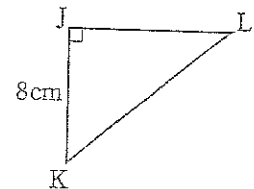
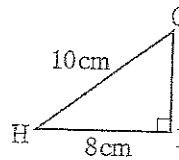
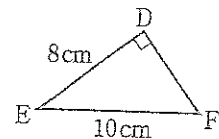
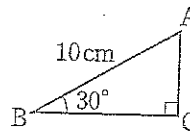
2 次のことがらの逆を書き、それが正しいかどうかをいいなさい。

(1) 自然数 a, b で、 a も b も偶数ならば、 $a+b$ は偶数である。

(2) 三角形 ABC で、 $\angle A = \angle B = \angle C$ ならば、 $AB=BC=CA$ である。

3 右の図の三角形で、合同な三角形を答えなさい。

また、そのとき使った合同条件も書きなさい。





西大和学園補習校 中学部

<教科名> 社会

1月23日の連絡

7~9年

きょう がくしゅうないよう
※今日の学習内容

教科書 p.202-209

きょう しゅくだい
※今日の宿題

教科書 p.210 ~ 215 の音読と語句トトイ成
問題集 地理2 p.62 ~ 68

※ 1月30日の予定

教科書 p.210 ~ 215

れんらくじこう
※連絡事項



西大和学園補習校 中学部

理科

1月23日の連絡

年

さん

※今日の^{きょう}学習^{がくしゅう}内容^{ないよう}

教科書（サイエンス1） p 64～71 地震のゆれはどのように大地を伝わるのだろうか
ワーク p 33～35

※今日の^{きょう}宿題^{しゅくだい}

ワーク（理科の学習1） p 33, 36, 48

※次週^{じしゅう}の予定^{よてい}

教科書（サイエンス1） p 72～73 地震はどのようにして起こるのだろうか
教科書（サイエンス1） p 78～80 地層はどのようにしてできるのだろうか

※連絡^{れんらく}事項^{じこう}

1月から、またサイエンス1の教科書を使います。
サイエンス1の教科書とワーク（理科の学習1）を持ってきてください。

地震が発生した時刻を求めよう！

例題 ① 次の表はある地震が発生した際のA・B地点の震源からの距離と、P波・S波が到着した時刻を表したものである。下の問いに答えなさい。

地点	震源からの距離	P波の到着時刻	S波の到着時刻
A	50km	8時23分30秒	8時23分40秒
B	100km	8時23分40秒	8時24分00秒

(1) P波の速さを求めよ。

考え方 A地点からB地点までの距離は100km - 50 km = 50 km。P波の到着時刻の差は10秒なので、50 km ÷ 10 秒 = 5 km/秒 答：5 km/秒

(2) この地震が発生した時刻を求めよ。

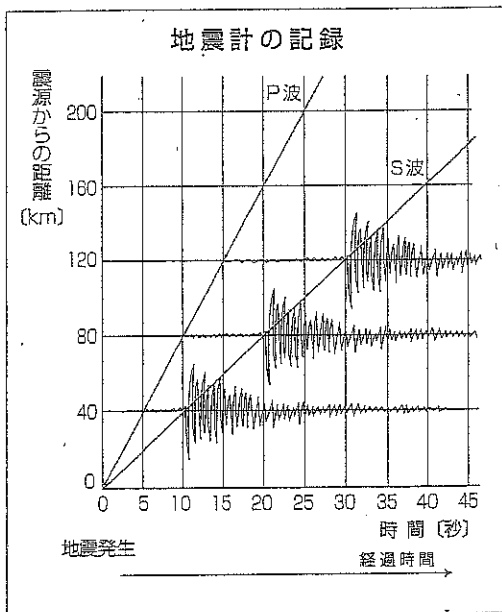
考え方 A地点は震源からの距離が50km。また、P波の速さが(1)より 5 km/秒なので、地震が発生してからA地点にP波が到着するまでにかかった時間は、50km ÷ 5 km/秒 = 10 秒。よって、地震が発生した時刻は、A地点にP波が到着した時刻(8時23分30秒)の 10 秒前ということなので、地震が発生した時刻は、8時23分 20 秒となる。

答：8時23分20秒

(3) B地点の初期微動継続時間を求めよ。

考え方 初期微動継続時間は、S波が到着した時刻からP波が到着した時刻を引き算することとで求める。8時24分00秒 - 8時23分 40 秒 = 20 秒 答：20 秒

問題 ② 下の図はある地震が発生したときの各地の地震計の記録をグラフにまとめたものである。このグラフを利用して次の問いに答えなさい。



(1) P波の速さを求めよ。

ヒント グラフより震源から40kmの地点に伝わるのに5秒かかる。 8 km/秒

(2) S波の速さを求めよ。

ヒント グラフより震源から40kmの地点に伝わるのに10秒かかる。 4 km/秒

(3) 40km地点の初期微動継続時間を求めよ。

ヒント グラフより到着時刻の差を読みとる。 5 秒

(4) 120km地点の初期微動継続時間を求めよ。

12 秒

(5) 120km地点の初期微動継続時間は、40km地点の初期微動継続時間の何倍か。 2.4 倍

(6) (5)のことから、震源からの距離と初期微動継続時間には、どのような関係があるといえるか。

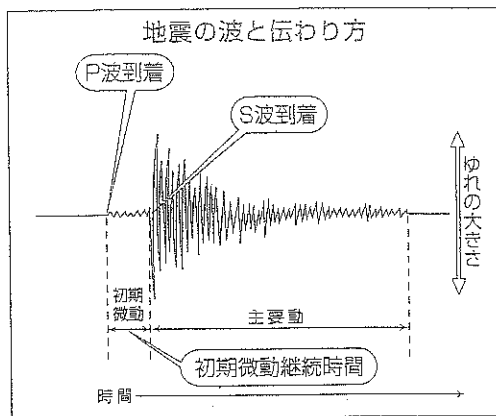
地震の波と伝わり方

地震が発生すると2種類の速さのちがう波が発生し、まわりに伝わります。

最初に発生する小さなゆれが初期微動(P波によって伝わる)で、初期微動がしばらく続いた後にくる大きなゆれが主要動(S波によって伝わる)である。

P波とS波の到着時刻の差を初期微動継続時間といいます。

右の図は地震が発生した際にある地点で観測された地震計の記録です。

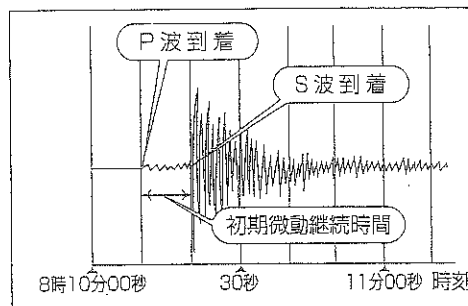


グラフから読みとろう!

問題) 1) 右の図から次の数値を読みとりなさい。

- (1) P波が到着した時間 _____
- (2) S波が到着した時間 _____
- (3) 初期微動継続時間 _____ 秒

ヒント 到着時刻の差を求めろ。



波の速さを求めよう!

問題) 2) 上の図で、地震が発生した時刻は8時10分00秒、震源からの距離は80kmであった。この地震のP波とS波の波の速さを、それぞれ求めなさい。

Point! ついで確認!

速さの求め方

速さ = 距離 ÷ 時間

- (1) P波の速さの求め方
震源からの距離…… _____ km
地震発生時刻からP波が到着するまでの時間…… _____ 秒
速さ = 距離 ÷ 時間 = _____ km ÷ _____ 秒 = _____ km/秒
答: _____ km/秒
- (2) S波の速さの求め方
震源からの距離…… _____ km
地震発生時刻からS波が到着するまでの時間…… _____ 秒
速さ = _____ km ÷ _____ 秒 = _____ km/秒
答: _____ km/秒

point! グラフや問題文から“震源からの距離”と“地震が発生してからそれぞれの波が到着するまでにかかった時間”をさがし出そう。あとは公式にあてはめて計算すると、速さがでてくるよ。
速さを計算すると、答えは必ずP波の速さの方がはやくなるよ。